

課題名：国内流行 HIV とその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究

公表年月日： 令和元年 11 月 27 日～29 日

公表の方法： 第 33 回日本エイズ学会 ポスター発表

公表の題名：日本で流行している HIV-1 CRF01\_AE の分子疫学的特徴の解析

公表内容の概要（400 字以内）：日本国内で 2003 年から 2018 年に診断された HIV 感染者から検出された CRF01\_AE (AE) の遺伝子データを用いて系統樹を作成し、周辺諸国での流行株との関連について解析した。データベース登録株のうち日本で報告された JP 株が 581 株あり、そのうち 2009 年以降の報告が 341 株、このうち中国由来が 77 株（23%）を占めていた。この他フィリピン由来株も 2009 年以降増加し 26 株（8%）確認され、インドネシア由来株、マレーシア由来株も確認された。現状では主に大都市での流行であるが、地方でも散見されており、今後は地方への拡散も懸念される。